

令和５年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-tech事業） 採択案件一覧

研究開発計画名	研究開発の概要	主たる技術区分	事業管理機関名	主たる研究等実施機関
A I 適応型運行モード組み換え技術の開発	公共交通の運用形態を柔軟化することで地域の多様な実情やニーズ・条件にサービスを適合させるため、A I オンデマンド交通 SAVS（Smart Access Vehicle Service）を中心とした柔軟な次世代公共交通を可能とする運行組み合わせ技術の確立を目指す。	情報処理	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	株式会社未来シェア
精密加工レーザ用誘導ラマン散乱抑圧型低損失・高出力テリバリファイバケーブルの製造技術の研究開発	高出力ファイバレーザによる遠隔地加工精度実現のため、誘導ラマン散乱を抑圧し、1 0 0 m、6 K W以上伝送を実現する低損失高出力テリバリファイバケーブルの製造技術の研究開発を行う。具体的には①低損失高出力ファイバの構造設計、②ファイバ母材製造方法の検討、③高出力ファイバ線引き方法の検討、④高出力ファイバの耐熱技術の検討、⑤1 0 0 m以上の低損失高出力光ファイバの伝送実験の検証を行う。	精密加工	・特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム ・公立大学法人公立千歳科学技術大学	フットニックスサイエンステクノロジー株式会社
安全かつ安価で高推力な宇宙機用に亜酸化窒素を用いるハイブリッド化学推進系の開発	小型宇宙機に適した推進系がないため、宇宙での移動が困難であり、ミッションの限定、宇宙ゴミの増加、および深宇宙探査の限界等の問題がある。ハイブリッド化学推進技術を応用することで、爆発のリスクがなく、安全かつ安価で高推力な推進系を開発する。 将来の宇宙輸送は、主要な宇宙輸送ハブ間を結ぶ宇宙輸送網の構築が予想される。この時、最寄りの宇宙輸送ハブから最終目的地へ向かうための技術として重要となる。	機械制御	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	Letara株式会社
高濃度M G P B培養法および微生物製剤の開発	微細藻類の増殖を促進する共生菌M G P Bを高密度培養し、効率的にM G P成分を高含有する微生物製剤を開発する。高度化目標に基づき、共生菌を高密度培養することでM G P成分を効率的に生産する方法を開発するとともに、生産コストに占める割合が大きいと予測される分離精製ならびに製剤化について、最適化し簡便・低コスト・高生産性のM G P成分製造法を開発する。	バイオ	国立大学法人北海道国立大学機構	環境大善株式会社